



..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....

# SUITA ESAKA ROTARY CLUB

## CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日 / 1990.2.27  
 事務所 / 〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)  
 TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場 / 新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日 / 毎週火曜日 12:30~13:30  
 会長:寺井正昭 幹事:成松 重人 会報委員長:田中 弘

### 2012年7月17日 第1052回例会(第1051号)

🌀 本日の例会 🌀

**今週の歌** 「 R-O-T-A-R-Y 」

**卓 話** 「 1年を振り返って 」

橋 本 豊 直前幹事

🌀 次回例会のお知らせ(7月24日) 🌀

**卓 話** 「 平成24年度税制改正  
 について 」

大 井 清 会 員

前回〔7月10日〕例会記録

**会長の時間** 寺井 会長

国際ロータリー特別月間として各月ごとにロータリー活動の強化の項目が決められております。私が入会した頃は7月は識字率向上月間でした。それが今は3月に変更になっております。この様に若干の変更がありますが今年度の活動月間の予定を申し上げます。

7月は特に何も決められておりません。8月は会員増強・拡大月間です。9月は新世代のための月間です。10月は職業奉仕と米山月間です。11月はロータリー財団月間と11月5日を含む週を世界インターアクト週間と決められております。そして12月は家族月間です。1月はロータリー理解推進月間と1月27日を含む週を追悼記念週間とされています。2月は世界理解月間と2月23日はロータリー創立記念日と共に世界理解と平和の日とされています。そして3月は識字率向上月間と3月13日を含む週を世界ローターアクト週間とされています。4月が雑誌週間で5月は特に決められておりません。そして最終月の6月がロータリー親睦活動月間とポルトガルの

出席報告 大井 委員

**【7月10日】**  
 在籍会員 38名(内出席規定適用免除者 10名)  
 出席会員 32名(内出席規定適用免除者 7名)  
 ホームクラブ出席率 91.43%

6月19日のMUを含む出席率 94.44%

リスボンでの国際大会の予定となっております。そのような予定に基づき第2660地区での各委員長会議等が開催されますので担当の委員長の方は出席くださいますようよろしくお願いいたします。

**幹事報告** 成松 幹事

7月8日クリーンエサカに当クラブより、木元会員、田中弘会員、成松の3名で参加。式典時の来賓あいさつを吹田西と隔年毎に担当することを確認。今年度は吹田江坂RCが行ったので、来年は吹田西RCが挨拶を行う。

**ニコニコ箱**

新井 会員 新年度入り宜しくお願い致します。  
 東 会員 前回欠席のおわびと寺井会長、成松幹事よろしく申し上げます。  
 田中(弘)会員 会長、幹事ガンバッテ下さい。  
 寺井 会員 本日、早退させていただきます。  
 スミマセン!  
 本日分 21,000円  
 累計 179,000円

関西大学RAC例会出席担当  
 Aグループ 山崎、東、渡辺、田中(茂)、北山、長島、堀田各会員

7月23日(月)  
 会場：関西大学千里山キャンパス  
 中央体育館 図書資料室  
 時間：19:00~20:00

## 関西大学RAC第44回例会出席報告

渡辺 会員

日 時：7月9日(月) 19:00~20:00

場 所：関西大学千里山キャンパス  
中央体育館 図書資料室

昨日(9日)、関大RACに東会員、北山会員、渡辺の3名出席して来ました。

新年度に入り初めての例会で、各々会員の今年度の目標・計画などの発表がありました。

その中で、地区への行事に積極的に参加したい。会員増強を図るなど、の意見がありました。

### 卓 話

「一年を振り返って・神仏習合」

庄 瀬 寛 直前会長

来年は第62回目の式年遷宮です。神社の正殿を新たに建てた場合、御神体を遷すことを遷宮と言います。式年とは定められた年という意味で、伊勢神宮では20年に一度行われています。第1回の式年遷宮が内宮で行われたのは、持統天皇4年(690)の時です。それから1300年にわたり式年遷宮が行われています。伊勢神宮の永遠性を維持するための大いなる営みです。

以前、家内と2人で朱印帳を持ち2年かかっていた巡礼は、伊勢神宮に始まり152箇所の社寺を経て高野山金剛峰寺で結願しました。

わが国では、明治より神社と寺が長期にわたり分離されてきたのですが、近年になり双方による神仏和合の動きがあり「神仏豊場会」が発足しました。その公式ガイドブックも発行されています。

先月に、天台宗、真言宗、神社神道が協同提言として「伝統宗教シンポジウム・宗教と環境 自然との共生」が京都市のホテルで開催されました。まさに宗教界再編成の動きです。半田孝淳比叡山延暦寺天台座主、松長有慶高野山真言宗金剛峯寺座主、田中恆清神社本庁総長の参加です。いよいよ神仏習合の動きが顕著になって来ました。

~~~~~  
今月のRI会長メッセージ

2012年7月

国際ロータリー会長

田 中 作 次

朋友ロータリアンの皆さん、

私の世代は、戦後に日本で育った最初の世代です。平和を重視するのは当然のことだと思います。自らの国の軍国主義の結末を経験した私たちの世代は、日本が平和を選ぶ大きな決断をした結果、目覚まし

い経済発展を遂げていくのも目にしました。

この決断があつてこそ、日本は成長と繁栄を遂げることができたと思います。そのおかげで、子どもたちの世代が安全な環境で成長し、教育を受け、暮らしを向上させることができたのです。また、この決断によって他の国や文化に対する日本人の見方は根本的に変わりました。日本人は心を開き、より寛容になり、もっと深く世界を理解するようになりました。個人のニーズより、社会のニーズ

さらに、平和を選択したことによって、私たちは前向きな目標に力を注ぐことができるようになりました。

個人のニーズより社会のニーズを重視するのは、日本の文化と切り離せない、伝統的な価値観です。2011年3月に起こった大地震と災害後、数週間、数か月間、私たちが生き延び、復興に努力できたのも、この価値感があつたからです。

これは、日本以外の国々にとっても、良い教訓であると思っております。他者のニーズが、自分自身のニーズよりも大切だと思い、社会全体のための共通の目標に向かって力を合わせるようになるならば、すべてが変わるのです。世界との関わり方が変わります。何を優先するのかが変わります。そして、平和の概念をどのように理解するのかが変わります。

2012 - 13年度には、「平和」が私たちの焦点であり、目標です。皆さんには、「奉仕を通じて平和を」もたらすため、積極的に活動していただくようお願いいたします。

他者への尊重の気持ちは平和な暮らしをもたらすロータリーの中核にあるのは、奉仕の力に対する信念です。奉仕を優先することで、自分よりも他者のニーズが優先され、人々が抱える困難に対し、深い同情の心が生まれます。自分の時間やリソースを惜しみなく与え、新しい考え方に対してさらにも心を開くことができます。他人を変えようとするのではなく、すべての人やものから学ぶことがあると認識することです。

奉仕を通じて、私たちは、互いの違いに対して寛容になり、周囲の人に対して感謝の気持ちを抱くようになるでしょう。そして、もっと相手を理解し、あらゆる人の中に善を見いだすことができるでしょう。こうした理解から生まれる他者への尊重の気持ちは、平和な暮らしをもたらすのだと思います。

今年度、「奉仕を通じて平和を」の精神をもって、ロータリーの目標である平和な世界に向けて邁進していただくよう、よろしくお願い申し上げます。